

## 第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

### 報告書資料 一般 - 42

学校名・団体名	関市立富野中学校
HPアドレス	<a href="http://www.edu.city.seki.gifu.jp/48350_hp/ita068/index.cfm?school_id=24">http://www.edu.city.seki.gifu.jp/48350_hp/ita068/index.cfm?school_id=24</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	I C Tと協同学習による合唱の表現力向上と地域 貢献
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校は、全校生徒51人全員で岐阜県関市の中で一番小規模の中学校である。音楽の授業では自発的に合唱活動に取り組み、全員の音楽理論と発声技能を高め、「魅せる合唱」を目指している。音楽への興味・関心を高めるために、個々の合唱の力の分析、ミュージックマップ（楽譜分析ノート）や音楽ドリルを活用した習熟度向上とその評価の仕方、発声技能の向上を目指した個々の生徒の実状に合った具体的な指導、掲示物や映像・動画を活用した分析・評価など様々な工夫を行う。それと共に、協同学習によるパート練習にi P a dを利用し、合唱の質を向上させ、51人全員の音楽理論と発声技能の向上により、「魅せる合唱」につながり、自発的に合唱に取り組む生徒を育成することができると考えた。それらを達成するために、i P a dを効果的に活用し、アクティブラーニングによる協同学習を行っていきたいと考えた。</p>	

## <活動・研究報告>

対象者は、全校生徒51人全員。主に音楽の時間にて継続して実践をした。

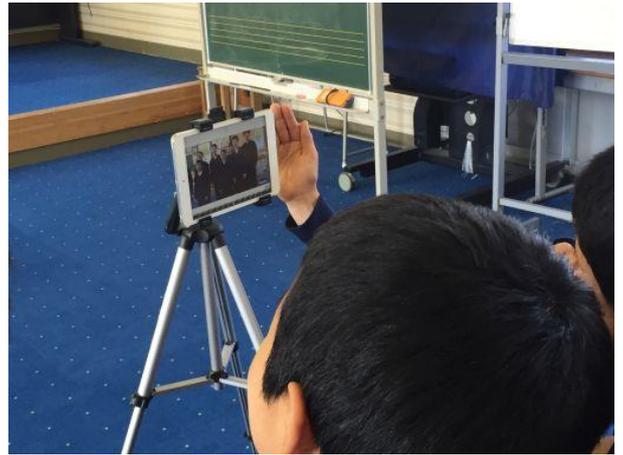
### 1. iPadによる「魅せる合唱」を創る協同学習

#### ①師範用音源・映像ツールとしての利用

伴奏用音源をスコアメーカーで作成し、全てiPadに保存した。そのiPadを利用することにより、いつでも簡単に選択して曲を再生することが可能となった。タッチパネル操作により、頭出しも瞬時にでき、何度でも簡単に利用できた。保存されている音源は膨大であり指導したい合唱曲がいつでも利用でき、Bluetoothでワイヤレススピーカーに飛ばし再生することにより、どの位置からでも合唱指導しつつ、曲選択などが可能となった。

#### ②少人数による「協同学習」での合唱の表現力向上

1学級は20人弱であり、3パートに分けると、1パートは数人となる。よって、一人一人の合唱の力量を向上させることが重要である。そこで、スコアメーカーを利用して、パート練習用楽譜を作成した。これをもとにして、パート練習用音源を作成し、各パートごとに、iPadを利用して簡単にパート練習ができるようにした。そして、少人数の協同学習により、パートリーダー中心に合唱練習を行い、それに適したツールとしての利用ができ、個々の力をつけさせ、合唱向上へとつなげることができた。



#### ③動画撮影・動画再生用ツールとしての利用

iPadでパート練習の様子を動画で撮影し、その場で生徒自ら再生し、「魅せる合唱」の表情・口のあけ方になっているかどうか、確認した。それと共に、合唱指導を徹底的に行い、ミュージックマップ（楽譜分析ノート）や音楽ドリルをiPadでAppleTVによって大型TVに表示させ、教師の師範と共に合唱向上への指導をし続けた。これが、「魅せる合唱」へとつなげていくこととなった。

iPadでは、動画データから必要な映像の部分を静止画像に簡単に変換できる。この画像で合唱に関する様々な資料を作成、掲示物にした。これにより生きた資料を簡単に利用でき、合唱指導向上に相応しい掲示物を作成する。音楽教室を音楽、「魅せる合唱」に関して資料が溢れた空間にした。



#### ④音楽資料提示用ツールとしての利用

これまでに作成した音楽資料（合唱の様子動画、楽譜、音源、楽譜分析、音楽ノート、掲示物資料など）をすべてデジタル化し、教師用情報端末としてiPadに保存した。授業において、必要となった過去の資料・素材・動画などをiPadでAppleTVを利用して簡単に大型TVに提示した。これにより、過去の中学校音楽指導の資料から、授業で急に必要となった資料などを簡単に取り出し、生徒へ提示し、指導を行うことができた。生徒の実態と授業の様子に応じて、適切な指導ができ、「魅せる合唱」へと更に向上させていくことにつながった。

## (2) パート練習・実践用 i P a d による「協同学習での合唱練習」

### ① パート練習用ツールとしての利用

パートごとに生徒自ら i P a d を利用し、パート練習、発声などの練習を直感的な利用により徹底して協同学習を行った。うまく音程がとれない時には、手本となる発声動画を再生し、繰り返し練習した。その様子を i P a d で撮影し、すぐ再生してパート練習の反省に利用した。常に、動画を利用することにより、「魅せる合唱」につながる協同学習を行い続けた。

混声3部合唱の場合は、今回導入した2台の i P a d と1台の iPhone を利用し、各パートごとに協同学習を行った。このようにパート練習で、生徒の合唱向上ツールとして i P a d を活用した。



### ② 「魅せる合唱」への動画撮影・再生ツールとしての利用

i P a d を合唱練習で利用することにより、伴奏、練習の様子の撮影、合唱の様子の観察、見つめなおし、「魅せる合唱」への向上させるためのポイント交流などを行った。特に体育館での合唱練習では、合唱の様子を撮影しその場で再生することによって、歌う姿勢・表情・口の開け方など「魅せる合唱」へのこだわりを映像から確認した。自分たちの合唱を客観的に見つめ直し、合唱への向上へつなげた。このように、合唱向上用ツールとして i P a d を利用し、生徒自らが協同学習を行い、「魅せる合唱」へと向上させた。



## (3) 地域貢献

中濃特別支援学校との交流、地域のふれあいセンターでの文化祭の発表など、数多くの場で、地域の方に向けて発表した。このような場所で、心を込めた精一杯の合唱を披露し、富野中学校として誇れる「魅せる合唱」を披露し、合唱の素晴らしさを地域全体に広めた。



## 2. 成果

小規模校にて、音楽の授業で i P a d を合唱向上のツールとして多様な実践を行い、教師が効果的な合唱指導を連動して行うことにより、生徒全員が協同学習によるパート練習を行い、確実に合唱の力を付け、「魅せる合唱」につながった。

また、全員で創り上げた「魅せる合唱」を地域の文化祭など様々な場で披露することで、地域に貢献する富野中学校、そして、地域の一員として自覚をもつことができた。